

酪農研修会で京都府の牛群検定※の取り組みを講演

2 月 15 日・22 日に、福岡市と宇都宮市で家畜改良事業団が主催する平成 29 年度「乳牛の遺伝的能力向上対策に係る研修会」が開催され、それぞれ 57 名と 41 名の各都道府県の酪農関係者が集いました。

当センターからは、府内 25 戸の酪農家による牛群検定に関する取り組みや 1 頭当たりの平均年間乳量が 1 万 kg を超える好成績を収めたことについて報告するとともに、ゲンゼ株式会社と共同開発した家畜用衣料「うしブル®」の暑熱対策効果についても紹介しました。

参加者からは、「京都は畜産が盛んな印象はなかったが、牛の改良に熱心な酪農家がいることが分かった」、「うしブル®を使ってみたい」などの感想が寄せられました。また、各県の酪農指導員や関係機関職員と情報交換ができ、連携を強める機会になりました。本研修会で得た知見は今後の酪農指導に活かしていきます。

※牛群検定…農家ごとに所有牛全頭の乳量や乳成分等を毎月数値化し、
乳量や乳質の向上に役立てる取り組み



福岡市開催の研修会



宇都宮市開催の研修会